

仕 様 書

1 供給品名

東京国立近代美術館で使用するガスの供給 一式

2 需要場所

- (1) 名称 独立行政法人国立美術館東京国立近代美術館本館
- (2) 所在地 東京都千代田区北の丸公園 3-1

3 予定ガス使用量等 45MJ/m³

(1) 予定最大時間流量

206 m³/h

※予定最大時間流量とは、1年間を通じての1時間あたりの最大ガス使用量をいい、原則としてこれを超えないものとする。

(2) 予定年間ガス使用量

230,000 m³

※予定年間ガス使用量とは、契約で定める1年間の予定月別使用量の合計量をいう。

(3) 予定年間引取量

161,000 m³ (予定年間使用量×0.7(端数切捨て)とする。)

※予定年間引取量とは、契約で定める1年間の最低引取量をいう。

(4) 予定月別使用量

別表1による。

4 供給期間

平成30年9月1日から平成31年8月31日

5 仕様等

- (1) ガスの種類 都市ガス 13A
- (2) 供給熱量 一般ガス導管事業者が定める小売託送供給約款(需要場所で払い出す託送供給)による。
- (3) 供給圧力 低圧
- (4) 対象メータ 別表2による。
- (5) 計量 計量は毎月1回、一般ガス導管事業者が定める検針日に一般ガス導管事業者が設置したガスメーターにより検針を行うものとする。
- (6) ガス供給設備の財産分界点 敷地境界とする。

- (7) 保安 供給者は、ガス事業法に定めるところによりガス消費機器の調査及び危険発生防止の安全周知を行うものとする。また、ガス工作物の保安責任はガス事業法に定めるところにより一般ガス導管事業者が負うものとする。保安責任分界点は、ガス工作物の末端のバルブとし、詳細については、独立行政法人国立美術館東京国立近代美術館と供給者との間で協議の上、確認・決定するものとする。
- (8) 原料費 料金は、公的機関の発表する貿易統計（平成27年6月から同年8月の平均値）のガスの原料に関する価格に基づいて算定するものとする。なお、石油石炭税等租税課金はLNGトン当たり1,860円、LPGトン当たり1,860円の場合のものとする。
- (9) 単位料金の調整 ガス料金は、旧一般ガス事業者の原料費調整制度に準じ、調整を行うものとする。なお、調整単位料金の算定と料金適用月および原料価格算定月の関係は次のとおりとする。N月を料金適用月とする調整単位料金は、(N-2)月を原料価格算定月とするトン当たり原料価格と基準トンあたり原料価格の差額にもとづき算定する。ただし、1月を料金適用月とする調整単位料金は前年の11月、また2月を料金適用月とする調整単位料金は前年の12月を原料価格算定月とするトン当たり原料価格と基準トンあたり原料価格の差額にもとづき算定する。

別表 1

予定月別使用量

使用月	合計使用量 (m3)
平成30年 9月	25,000
平成30年10月	22,000
平成30年11月	16,000
平成30年12月	14,000
平成31年 1月	11,000
平成31年 2月	12,000
平成31年 3月	16,000
平成31年 4月	17,000
平成31年 5月	22,000
平成31年 6月	21,000
平成31年 7月	26,000
平成31年 8月	28,000
合 計	230,000

別表 2

対象メータ一覧表

	メータ番号	メータの種類
①	142707945	NP 100
②	142707959	NP 100
③	172684007	NIP 6